



Java Desktop System Release 2 ご 使用にあたって

Sun Microsystems, Inc.
4150 Network Circle
Santa Clara, CA 95054
U.S.A.

Part No: 817-7765-11
2004 年 10 月

Copyright 2004 Sun Microsystems, Inc. 4150 Network Circle, Santa Clara, CA 95054 U.S.A. All rights reserved.

本製品およびそれに関連する文書は著作権法により保護されており、その使用、複製、頒布および逆コンパイルを制限するライセンスのもとにおいて頒布されます。サン・マイクロシステムズ株式会社からの書面による事前の許可なく、本製品および関連する文書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製することが禁じられます。Sun およびそのライセンサ（該当する場合）からの書面による事前の許可なく、いかなる手段や形態においても、本製品または文書の全部または一部を複製することを禁じます。フォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company, Ltd. が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

Sun、Sun Microsystems、Sun のロゴ、docs.sun.com、AnswerBook、AnswerBook2、Java および Solaris は、米国ならびに他の国における Sun Microsystems, Inc. (以下、米国 Sun Microsystems 社とします) の商標または登録商標です。すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャに基づくものです。Macromedia, Inc. による Macromedia Flash Player 技術を搭載しています。Copyright© 1995-2002 Macromedia, Inc. All rights reserved. Macromedia、Flash および Macromedia Flash は、米国および海外における Macromedia, Inc. の商標もしくは登録商標です。

本製品に含まれる郵便番号辞書 (7 桁/5 桁) は郵政事業庁が公開したデータを元に制作された物です (一部データの加工を行なっています)。本製品に含まれるフェイスマーク辞書は、株式会社ビレッジセンターの許諾のもと、同社が発行する『インターネット・パソコン通信フェイスマークガイド '98』に添付のものを使用しています。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカルユーザーインタフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザーインタフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

U.S. Government Rights – Commercial software. Government users are subject to the Sun Microsystems, Inc. standard license agreement and applicable provisions of the FAR and its supplements.

本書は、「現状のまま」をベースとして提供されており、商品性、特定目的に対する適合性または第三者の権利の非侵害の暗黙の保証を含み、それに限定されない、明示的であるか暗黙的であるかを問わず、なんらの保証も行われぬものとします。

原典: *Java Desktop System Release 2 Release Notes*

Part No: 817-6965-12

Revision A



041102@10082



目次

はじめに	5
1 リリースノート	11
1.1 このリリースの内容	11
1.2 Java Desktop System Release 2 のリリース情報	12
1.3 各リリースの相違点	13
1.4 既知の問題点	13
1.5 ユーザーマニュアル	16
1.5.1 ユーザーマニュアルの利用方法	16
1.5.2 各国語版のユーザーマニュアルへのアクセス	16
1.5.3 マニュアルのないアプリケーション	17
1.5.4 サンプルアプリケーションのマニュアル	17
1.6 サンプルアプリケーション	18
1.6.1 コミュニティアプリケーション	18
1.6.2 Sun 以外のアプリケーション	19
1.6.3 ゲーム	20
1.7 Mozilla 1.7 用プラグイン	20
1.7.1 Java プラグイン	20
1.7.2 その他のプラグイン	21
1.8 Unicode 多言語コンピューティングへの移行	21
1.8.1 ロケールサポート	21
1.8.2 データのインポートとエクスポート	22
1.9 サポートされる言語	24
1.10 Linux システム向けの製品の更新	25
1.11 カスタマーサポート	25
1.11.1 インストールと設定のサポート契約	26

はじめに

本書は、Sun Java™ Desktop System Release 2 をインストールする前にお読みください。

対象読者

本書は、Java Desktop System Release 2 を使用して次の操作を行うユーザーを対象に書かれています。

- Java Desktop System のインストール
- Java Desktop System の管理
- 各種ロケールでの Java Desktop System の設定

関連マニュアル

次のマニュアルは、本書の参考マニュアルです。

一般マニュアル

- 『Java Desktop System Release 2 Accessibility Guide』
- 『Java Desktop System Release 2 システム管理』
- 『Java Desktop System Release 2 インストールガイド』
- 『Java Desktop System Release 2 問題の解決方法』
- 『Java Desktop System Release 2 ユーザーズガイド』

Linux リリースに関するマニュアル

- 『GNOME 2.2 ユーザーズガイド (Linux 版)』
- 『Java Desktop System Release 2 クイックスタート・ユーザーズガイド』
- 『Java System Update Service User Guide』

Solaris リリースに関するマニュアル

- 『Java Desktop System Release 2 ユーザーズガイド』

参考マニュアル

次のマニュアルは、本書の参考マニュアルです。

- 『Java Desktop System Release 2 Ximian Evolution 1.4 ユーザーズガイド』
- 『StarSuite 7 Office Suite 管理ガイド』
- 『StarSuite 7 Office Suite Basic プログラマ向けガイド』
- 『StarSuite 7 Office Suite インストールの手引き』
- 『StarSuite 7 Office Suite ユーザーズガイド』
- System Configuration Manager Release 1 コレクション

Sun のオンラインマニュアル

docs.sun.com™ では Sun が提供しているオンラインマニュアルを参照することができます。マニュアルのタイトルや特定の主題などをキーワードとして、検索を行うこともできます。URL は、<http://docs.sun.com> です。

Sun マニュアルの注文方法

Sun Microsystems では、印刷された精選の製品マニュアルを提供しています。マニュアルの一覧と注文方法については、<http://docs.sun.com> の「印刷された文書の購入」を参照してください。

サポートされる Solaris システム

Solaris™ オペレーティングシステム (Solaris OS) は、各種アーキテクチャ、プロセッサファミリー、システムをサポートします。表 P-1 は、本製品リリースに関して、Solaris OS がサポートしているシステムの情報を示します。

表 P-1 サポートされる Solaris システム

アーキテクチャ	プロセッサファミリー	Solaris システム
x86	■ IA-64ia32 ■ AMD64	次の場所にアクセスして、最新の Solaris x86 プラットフォームハードウェアの互換性リストを参照してください。 http://www.sun.com/bigadmin/hcl

表記上の規則

このマニュアルでは、次のような字体や記号を特別な意味を持つものとして使用します。

表 P-2 表記上の規則

字体または記号	意味	例
AaBbCc123	コマンド名、ファイル名、ディレクトリ名、画面上のコンピュータ出力、コード例を示します。	.login ファイルを編集します。 ls -a を使用してすべてのファイルを表示します。 system%
AaBbCc123	ユーザーが入力する文字を、画面上のコンピュータ出力と区別して示します。	system% su password:
<i>AaBbCc123</i>	変数を示します。実際に使用する特定の名前または値で置き換えます。	ファイルを削除するには、rm <i>filename</i> と入力します。
『 』	参照する書名を示します。	『コードマネージャ・ユーザーズガイド』を参照してください。

表 P-2 表記上の規則 (続き)

字体または記号	意味	例
「」	参照する章、節、ボタンやメニュー名、強調する単語を示します。	第 5 章「衝突の回避」を参照してください。 この操作ができるのは、「スーパーユーザー」だけです。
\	枠で囲まれたコード例で、テキストがページ行幅を超える場合に、継続を示します。	sun% grep `^#define \ XV_VERSION_STRING '

コード例は次のように表示されます。

- C シェル

```
machine_name% command y|n [filename]
```
- C シェルのスーパーユーザー

```
machine_name# command y|n [filename]
```
- Bourne シェルおよび Korn シェル

```
$ command y|n [filename]
```
- Bourne シェルおよび Korn シェルのスーパーユーザー

```
# command y|n [filename]
```

[] は省略可能な項目を示します。上記の例は、*filename* は省略してもよいことを示しています。

| は区切り文字 (セパレータ) です。この文字で分割されている引数のうち 1 つだけを指定します。

キーボードのキー名は英文で、頭文字を大文字で示します (例: Shift キーを押します)。ただし、キーボードによっては Enter キーが Return キーの動作をします。

ダッシュ (-) は 2 つのキーを同時に押すことを示します。たとえば、Ctrl-D は Control キーを押したまま D キーを押すことを意味します。

一般規則

- このマニュアルでは、英語環境での画面イメージを使っています。このため、実際に日本語環境で表示される画面イメージとこのマニュアルで使っている画面イメージが異なる場合があります。本文中で画面イメージを説明する場合には、日本語のメニュー、ボタン名などの項目名と英語の項目名が、適宜併記されています。

- このマニュアルでは、「x86」という用語は、Intel 32 ビット系列のマイクロプロセッサチップ、および AMD が提供する互換マイクロプロセッサチップを意味します。

マウス使用規則

次の表に、Java Desktop System 用マニュアルでのマウス使用規則をまとめます。

アクション	定義
クリック	マウスを動かさずに、左マウスボタンを押して放す
クリック&ホールド	左マウスボタンを押したまま放さない
左クリック	クリックと同じ。左クリックは、右クリックと混乱する恐れがある場合に、操作を明確にするために使用する
中央クリック	マウスを動かさずに、中央マウスボタンを押して放す
右クリック	マウスを動かさずに、右マウスボタンを押して放す
ダブルクリック	マウスを動かさずに、左ボタンをすばやく 2 回押して放す
ドラッグ	マウスボタンをクリック&ホールドして、オブジェクトを移動する。たとえば、ウィンドウまたはアイコンをドラッグできる。デスクトップ上では、左マウスボタンおよび中央マウスボタンを使用してドラッグを実行できる
ドラッグ&ドロップ	マウスボタンをクリック&ホールドして、オブジェクトを移動する。たとえば、ウィンドウまたはアイコンをドラッグ&ドロップできる。オブジェクトを配置する場所でマウスボタンを放す
つかむ	移動する項目をポイントし、マウスボタンをクリック&ホールドする。たとえば、ウィンドウのタイトルバーをグラブし、そのウィンドウを別の場所にドラッグできる

第 1 章

リリースノート

本書では、次の Java Desktop System リリース製品を対象に説明します。

- Linux プラットフォーム用 Java Desktop System Release 2
- 次のハードウェア上で稼動する x86 プラットフォーム用 Solaris 9 オペレーティングシステム 9/04 向け Java Desktop System Release 2
 - Sun Microsystems Workstation W1100z
 - Sun Microsystems Workstation W2100z

Java Desktop System コンポーネントは、オープンソーススタンダードに基づいており、GNOME デスクトップ環境、StarSuite 統合オフィスツール、Mozilla ブラウザ、Evolution メールおよびカレンダークライアント、Java 2 Platform Standard Editionなどを装備しています。Java Desktop System は、サーバー側管理ツールを備えており、ユーザーのデスクトップ環境を集中的に設定、導入、管理することができます。また Java Desktop System は、開発者が Java をベースにした GNOME デスクトップ用アプリケーションを作成しやすいよう、高度な開発者ツールを装備しています。

1.1 このリリースの内容

このリリースの Java Desktop System に含まれるものを表 1-1 および表 1-2 に示します。

表 1-1 Linux リリースの内容

項目	説明
CD1、CD2、CD3	Java Desktop System をインストールするために必要なすべてのファイルが含まれています。

表 1-1 Linux リリースの内容 (続き)

項目	説明
CD4、CD5	CD1、CD2、および CD3 の内容のソースが含まれています。CD4 と CD5 は、インストール作業には必要ありません。
ドキュメント CD	Java Desktop System のユーザーマニュアルが含まれています。
開発者ツール CD	Sun Java Studio Standard、NetBeans、J2SE が含まれています。使用している設定によって、次の言語バージョンを使用できます。 ■ 英語。 ■ 日本語。ただし NetBeans は除く。 ■ 簡体字中国語。ただし NetBeans は除く。
管理 CD	システム管理ツールが含まれています。次の設定でのみ、使用可能です。 ■ マルチユーザーメディアキットおよびアップグレードメディアキット。 ■ 評価メディアキット。

表 1-2 Solaris リリースの内容

項目	説明
ダウンロードパッケージ	このリリースの Java Desktop System をインストールするために必要なすべてのファイルが含まれています。
Solaris DVD	x86 プラットフォーム用 Solaris 9 オペレーティングシステム 9/04 をインストールするために必要なすべてのファイルが含まれています。
Java Desktop System DVD	このリリースの Java Desktop System と管理者ツールをインストールするために必要なすべてのファイルが含まれています。 また、Java Desktop System のユーザーマニュアルも含まれています。

1.2 Java Desktop System Release 2 のリリース情報

次の表に、Java Desktop System Release 2 のリリース情報を示します。

表 1-3 Java Desktop System Release 2 のリリース情報

プラットフォーム	説明	スケジュール
Linux	すべての言語	2004 年 5 月
Solaris オペレーティングシステム	すべての言語	2004 年 10 月

1.3 各リリースの相違点

Solaris プラットフォーム用と Linux プラットフォーム用の Java Desktop System Release 2 には、いくつかの違いがあります。このリリースのユーザーインターフェースの内容については、次のマニュアルで説明します。

表 1-4 Java Desktop System Release 2 の各リリースの相違点に関する情報

プラットフォーム	関連情報の場所
Linux	『Java Desktop System Release 2 クイックスタート・ユーザーズガイド』 『GNOME 2.2 ユーザーズガイド (Linux 版)』
Solaris OS	『Java Desktop System Release 2 ユーザーズガイド』

1.4 既知の問題点

Java Desktop System における既知の問題点のうち、回避策がまだ見つかっていないものを次の表に示します。

トピック	既知の問題点
アクセシビリティ	■ バグ ID: 5080638 Solaris プラットフォーム用 Java Desktop System の支援技術機能を使用してログインすると、次のエラーダイアログが表示されることがあります。 「XKB 構成をアクティブ化しているときにエラーが発生しました。」 このエラーはセッションには影響しないので、エラーダイアログを閉じて引き続きセッションを実行できます。

トピック	既知の問題点
アプリケーション	■ バグ ID: 5021163 ファイルマネージャ: Nautilus ファイルマネージャは、<code>nfs:///</code> 経由でアクセス権を継承することができません。そのため、<code>nfs</code> マウントにあるファイルおよびフォルダのアクセス権を変更できません。 ■ バグ ID: 5061768 入力方式切り替え器: パネルのポップアップメニューからメニュー項目を選択すると、このパネルアプリケーションがパネルに表示されません。 ■ バグ ID: 5065269 電子メール: 電子メールとカレンダーアプリケーションでは、各種エンコーディングの電子メールを受信して表示できますが、送信するメールのサブジェクトのエンコーディングは変更できないことがあります。 ■ バグ ID: 5081928 StarSuite 文書から Web リンクをクリックすると、Mozilla インターネットブラウザが起動しません。 ■ バグ ID: 5082008 アーカイブ管理: アーカイブ管理 から、次の種類のアーカイブを作成できません。 ■ .arj ■ .lha ■ .bzip ■ .lzop ■ .zoo ■ ボリュームコントロール ボリュームコントロールデスクトップアプリケーションを起動できる、ボリュームコントロールパネルアプリケーションのオプションが動作しません。
デスクトップ	■ バグ ID: 5025654 GNOME について: 「GNOME について」ダイアログに誤ったバージョン情報が含まれています。 ■ アクセシブルログイン: このリリースの Java Desktop System にはアクセシブルログイン機能がありますが、現在この機能は部分的にのみ動作します。

トピック	既知の問題点
各国語化	■ GNOME Help ブラウザに表示されるように、ユーザーインターフェースの翻訳およびヘルプ内容の翻訳は、このリリースの Java Desktop System では完全なものではありません。Java Desktop System Release 2 の日本語化のリリース情報については、表 1-3 を参照してください。 ■ このリリースの Java Desktop System には、GNOME コミュニティが各国語化したアプリケーションが数多く含まれています。Sun Microsystems は、これらの各国語版の完全性や正確性については責任を持ちません。 ■ BMP Unicode 以外の文字を含んでいる文書を Mozilla から印刷することはできません。 ■ このリリースの Java Desktop System は、システムが使用する glibc のバージョンにより、Hong Kong Supplementary Character Set (HKSCS) の HKSCS-1999 バージョンのみをサポートします。HKSCS-2001 は、Java Desktop System の将来のリリースでサポートされます。HKSCS-1999 と HKSCS-2001 の違いは以下のとおりです。 ■ HKSCS-1999 は、ISO-10646/Unicode PUA (私用領域) を使用して、HKSCS に定義されている追加文字で、1999 年時点で ISO-10646/Unicode の一部になく、現在および将来的にも公式に ISO-10646/Unicode の一部に含まれない追加文字にコードを割り当てます。 ■ HKSCS-2001 は、HKSCS-1999 に定義されている同じ文字に対して PUA の代わりに ISO-10646/Unicode Plane 2 を使用します。これは、これらの HKSCS 文字が公式に ISO-10646/Unicode の一部として認められたためです。 ■ HKSCS-2001 は、HKSCS-1999 でサポートされている文字のほかに追加の 116 文字をサポートします。 HKSCS-1999 の ISO-10646/Unicode はこのリリースの Java Desktop System で使用できますが、HKSCS-1999 と HKSCS-2001 ではコードの割り当てが異なるため、HKSCS-2001 の ISO-10646/Unicode を使用するシステムとの間で文書をやりとりするためには、HKSCS-1999 内の文字を使用する文書を、EUC または Big5 などのエンコーディングにコード変換する必要があります。 HKSCS-2001 をサポートするバージョンの glibc は、HKSCS-1999 から HKSCS-2001 へのコードコンバータと共に、このリリースの Java Desktop System 用にダウンロード可能です。 ■ バグ ID: 5025578 Korean Input Method が有効になっていると、GTK 対応でない アプリケーションでホットキーが使えません。 ■ バグ ID: 5030768 Java Desktop System 用の Sun Java Studio 5 Standard Edition の CD に含まれる、README.html の中国語の入門ガイドは、誤ったマニュアルにリンクされています。正しいリンクは次のとおりです。 <code>Documentation_zh/getstartedse_zh_CN.pdf</code>

1.5 ユーザーマニュアル

Java Desktop System のユーザーマニュアルは、PDF および HTML バージョンで表示できます。

1.5.1 ユーザーマニュアルの利用方法

表 1-5 は、Java Desktop System Release 2 の各種リリース情報についてのユーザーマニュアルの利用方法をまとめたものです。

表 1-5 ユーザードキュメントの利用方法

プラットフォーム	場所
Linux	■ ドキュメント CD ■ http://docs.sun.com
Solaris オペレーティングシステム	■ 製品 DVD。Documentation フォルダを参照してください。 ■ http://docs.sun.com

1.5.2 各国語版のユーザーマニュアルへのアクセス

各国語版のユーザーマニュアルは、表 1-5 に記載されている場所から参照できます。

ドキュメント CD から各国語版のユーザーマニュアルを表示するには、次の手順を実行します。

1. ドキュメント CD をシステムの CD ドライブに挿入します。
2. 好みの HTML ブラウザで README.html ファイルを開きます。
3. README.html の指示に従って、言語、トピック、希望するマニュアルを選択します。

<http://docs.sun.com> から各言語版のユーザーマニュアルを表示するには、次の手順を実行します。

1. 次のページを開きます。
<http://docs.sun.com>
2. 言語選択ボタンから、希望の言語を選択します。
言語選択ボタンは、そのページの「**Search/browse within**」領域の隣にあります。
3. 希望のマニュアル名を「検索」フィールドに入力します。
4. 表示されたリストから、希望のマニュアルを選択します。

製品 DVD から各国語版のユーザーマニュアルを表示するには、次の手順を実行します。

1. 製品 DVD を、システムの DVD ドライブに挿入します。
2. Documentation フォルダを開きます。
3. 好みの HTML ブラウザで README.html ファイルを開きます。
4. README.html の指示に従って、言語、トピック、希望するマニュアルを選択します。

1.5.3 マニュアルのないアプリケーション

このリリースの Java Desktop System には、次のデスクトップアプリケーション用のマニュアルが含まれていません。

- Instant Messenger

このリリースの Java Desktop System には、次のパネルアプリケーション用のマニュアルが含まれていません。

- アポイントとタスク
- 入力方式切り替え器
- キーボードインジケータ

1.5.4 サンプルアプリケーションのマニュアル

このリリースの Java Desktop System には、GNOME フリーソフトウェアコミュニティによって提供されるヘルプマニュアルを持つサンプルアプリケーションが含まれています。Sun Microsystems は、フリーソフトウェアコミュニティによって提供されるヘルプマニュアルの完全性または正確性については、責任を負いません。次に表に、Java Desktop System Help ブラウザから表示できる、マニュアルのサポート状況を示します。

ヘルプセクション	マニュアルの状況
GNOME デスクトップ	Sun は、標準 Java Desktop System ソフトウェアパッケージの一部であるすべてのアプレットとアプリケーションについて、マニュアルを提供します。 Sun は、サンプルアプリケーションのマニュアルは提供しません。サンプルアプリケーションのリストについては、18 ページの「1.6 サンプルアプリケーション」を参照してください。

ヘルプセクション	マニュアルの状況
追加マニュアル	■ システム Sun は、このセクションのマニュアルは提供しません。 ■ マニュアルページ Sun は、サポートするアプリケーションおよび機能に関する 129 のマニュアルページを提供します。マニュアルページの著作者として Sun (Sun のエージェント) の明確な著作者表示がない場合、そのマニュアルは Sun によってサポートされていません。 ■ 情報ページ Sun は、このセクションのマニュアルは提供しません。

Sun は、サンプルアプリケーションの各国語版マニュアルは提供しません。

1.6 サンプルアプリケーション

Sun は、ユーザーが批評および評価できるよう、Java Desktop System と共に各種サンプルアプリケーションを提供します。サンプルアプリケーションは、GNOME フリーソフトウェアコミュニティや Sun 以外の販売会社の製品です。Sun は、これらのサンプルアプリケーションについては、以下のいずれも提供しません。

- 支援技術機能
- バグの修正
- マニュアルまたはヘルプ
- 各国語化
- 技術サポート

1.6.1 コミュニティアプリケーション

次の表に、Sun がサンプルアプリケーションとして提供する GNOME フリーソフトウェアコミュニティからのアプリケーションを記載します。

アプリケーション	説明
図のエディタ	フローチャート、地図、UML 図など、数多くの図を作成できる図形エディタ

アプリケーション	説明
辞書	単語の定義および正確なスペルを調べることができるオンライン辞書
デジタルカメラブラウザ	画像を管理するデジタルカメラブラウザ Linux リリースのみ。
ディスクアナライザ	ディスク状態の視覚的な描写を作成できる
画像エディタ	画像を編集する GNU 画像処理プログラム
画像管理	画像のサムネイルをデスクトップに表示する画像ビューアとブラウザ
インタフェースエディタ	GNOME アプリケーションのユーザーインタフェースを作成するプログラミングアプリケーション
ムービープレイヤー	動画を再生できるマルチメディアプレイヤー Linux リリースのみ。
プロジェクト管理	プロジェクトスケジュールの管理用ツール
ソースエディタ	プログラマのための汎用的な拡張可能なエディタ
ビデオ会議	テレビ会議アプリケーション Linux リリースのみ。
天気予報	さまざまな地域の現在の天候を表示する天気予報プログラム
Web Start	事前に設定した内容を使用して Web ブラウザを起動する、Java アプリケーション

1.6.2 Sun 以外のアプリケーション

次の表に、Sun がサンプルアプリケーションとして Java Desktop System Release 2 で提供する Sun 以外の製品を記載します。

Sun 以外の製品	説明	プラットフォーム
Adobe Acrobat Reader	PDF (Portable Document Format) 形式のファイルを表示できる	Linux システム
Macromedia Flash Player	Web 上で対話的にマルチメディアを再生できる	Linux システムおよび Solaris システム
RealNetworks RealPlayer	一般に使用されている、さまざまな形式のメディアファイルを再生できる	Linux システム

Java Desktop System Release 2 の Solaris プラットフォーム上では、PDF ドキュメントビューアを使用して PDF ドキュメントを閲覧できます。PDF Document Viewer を起動するには、「起動」をクリックしてから「アプリケーション」→「グラフィックス」→「PDF ドキュメントビューア」を選択します。

Java Desktop System Release 2 の Solaris プラットフォーム上では、Java メディアプレイヤーを使用して RealPlayer がサポートしているいくつかのメディア形式を再生できます。Java Media Player を起動するには、「起動」をクリックしてから「アプリケーション」→「マルチメディア」→「Java メディアプレイヤー」を選択します。

1.6.3 ゲーム

Sun は、サンプルアプリケーションとして次のゲームを提供します。

- Ataxx
- Freecell
- Klotski
- Lines
- Iagno
- Mahjongg
- Mines
- Nect
- Nibbles
- Robots
- Same GNOME
- Spider
- Stones
- Tali
- Travex

1.7 Mozilla 1.7 用プラグイン

このセクションでは、Mozilla 1.7 用プラグインについて説明します。

1.7.1 Java プラグイン

Java プラグインは、Mozilla 1.7 ではデフォルトで有効になっています。Java プラグインが動作しない場合は、`/usr/sfw/lib/mozilla/plugins` ディレクトリに次のファイルを示すシンボリックリンクを作成してください。

```
$JAVA_PATH/plugin/i386/ns610/libjavaplugin_oji.so
```

注 - libjavaplugin_oji.so ファイルをコピーするのではなく、必ずシンボリックリンクを作成してください。libjavaplugin_oji.so をコピーすると、Java はクラッシュします。

すべての Java プラグインを /usr/sfw/lib/mozilla/plugins ディレクトリにインストールしてください。

1.7.2 その他のプラグイン

Mozilla 1.7 には、次の Sun 以外のプラグインも 使用できます。

- Adobe Acrobat Reader
- Macromedia Flash Player
- RealPlayer

これらプラグインを使用できるプラットフォームについては、19 ページの「1.6.2 Sun 以外のアプリケーション」を参照してください。

Mozilla のプラグインについての詳細は、次の場所を参照してください。

<http://plugindoc.mozdev.org/linux.html>

1.8 Unicode 多言語コンピューティングへの移行

Java Desktop System は、Unicode UTF-8 エンコーディングの言語をサポートする、Unicode 完全対応の多言語システムです。Java Desktop System は、UTF-8 以外の従来の言語のエンコーディングをサポートするための、コードセット変換も提供します。

1.8.1 ロケールサポート

Java Desktop System は、基底オペレーティングシステムの一部として、すべてのロケールの既定デスクトップとしてインストールされます。ただし、Sun では Java Desktop System 内の次のロケールを対象に、完全なグローバルサポートを提供します。

- de_DE.UTF-8
- fr_FR.UTF-8

- es_ES.UTF-8
- sv_SE.UTF-8
- it_IT.UTF-8
- ja_JP.UTF-8
- ko_KR.UTF-8
- zh_CN.UTF-8
- zh_CN.GB18030
- zh_TW.UTF-8
- zh_TW.BIG5

1.8.2 データのインポートとエクスポート

Unicode 多言語コンピューティングへの移行によって影響を受けるデータは、様々な方法でインポートおよびエクスポートできます。

1.8.2.1 リムーバブルメディア

ファイルシステムタイプの FAT と VFAT は、Microsoft Windows に搭載したフロッピーディスク、zip ドライブ、リムーバブルハードディスクに主に使用されます。システム管理者は、マウントオプションの `codepage` と `iocharset` をこれらのファイルシステムタイプに設定する必要があります。たとえば、繁体字中国語版 Microsoft Windows からインポートする場合、繁体字中国語のファイル名を正しく表示するには、次の表のように設定する必要があります。

マウントオプション	繁体字中国語の設定
<code>codepage</code>	950
<code>iocharset</code>	big5

繁体字中国語の例を示す `/etc/fstab` のエントリは、以下のとおりです。

```
/dev/fd0h1440 /media/fd0h1440 vfat
noauto,iocharset=big5,codepage=950

/dev/sda1 /media/ieel394disk vfat
noauto,iocharset=big5,codepage=950
```

1.8.2.2 Samba を使用してリモートの Microsoft Windows ファイルシステムをマウントする

CIFS を使用して共有されるリモートの Microsoft Windows ファイルシステムや、SMB によって別のシステムからエクスポートされたファイルシステムにマウントするには、システム管理者がマウントオプションの `codepage` と `iocharset` を設定する

必要があります。繁体字中国語版 Microsoft Windows で big5 にエンコードした従来のファイルをインポートした場合に、繁体字中国語のファイル名を正しく表示するには、iocharset パラメータを big5 に設定し、codepage を 950 に設定する必要があります。以下に /etc/fstab エントリの例を示します。

```
server:/data /data smbfs
iocharset=big5,codepage=950,username=foo,password=bar
```

1.8.2.3 Samba を使用してリモートの UNIX ファイルシステムをマウントする

Java Desktop System は、SMB を使用して UNIX および Linux システム上のファイルシステムにリモートアクセスできます。リモートファイルシステムをエクスポートするには、エクスポートサーバーが Samba またはそれに相当するプログラムを実行している必要があります。従来のデータが従来のエンコーディングで格納されている場合には、クライアント側でファイルシステムのエンコーディングを指定することができます。ファイル名のコードセット変換は、自動的に行われます。

1.8.2.4 Microsoft Office ファイル

Microsoft Office ファイルは、Unicode でエンコードされています。StarSuite アプリケーションは、Unicode でエンコードされたファイルを問題なく読み取りおよび書き込みできます。

1.8.2.5 HTML ファイル

Mozilla Composer などの HTML エディタを使用して作成した HTML ファイルや、Web ブラウザによって保存された HTML ファイルには、通常、charset エンコーディングタグが含まれています。HTML ファイルは、HTML ファイル内のエンコーディングタグに基づいて、Mozilla Navigator Web ブラウザで表示したり、Mozilla Composer を使用してファイルを編集することができます。

1.8.2.6 壊れた HTML ファイルの修正

HTML ファイルは文字化けする場合があります。この問題は、概ね次の理由によります。

- charset エンコーディングタグが正しくない。
- charset エンコーディングタグがない。

HTML ファイルの charset エンコーディングタグを見つけるには、次の手順を実行します。

1. Mozilla を使用してファイルを開きます。
2. **Ctrl** を押すか「表示」をクリックして、「表示」メニューを開きます。
3. 「ページ情報」をクリックします。

charset 情報は、「一般」タブの下に次のように表示されます。Content-Type
text/html; charset=us-ascii

文字列 `charset=us-ascii` が、ファイルの実際のエンコーディングと一致しない場合、そのファイルは壊れているように見えることがあります。HTML ファイルのエンコーディングを編集するには、次の手順を実行します。

1. Mozilla Composer でファイルを開きます。
2. 「ファイル」メニューを開きます。
3. 「Save As Charset」を選択します。
4. 正しいエンコーディングを選びます。Mozilla Composer は、自動的にエンコーディングと charset タグを適切に変換します。

1.8.2.7 汎用形式で保存された電子メール

現在使用されている電子メールは、MIME charset タグでタグ付けされています。Java Desktop System のメールアプリケーションである Evolution は、MIME charset タグを認識します。したがって、エンコーディングを変換する必要はありません。

1.8.2.8 プレーンテキストファイル

プレーンテキストファイルには、charset タグがありません。ファイルが UTF-8 エンコーディングでない場合、エンコーディング変換を行う必要があります。たとえば、繁体字中国語の big5 でエンコードされているプレーンテキストを UTF-8 に変換するには、次のコマンドを実行します。`iconv -f big5 -t UTF-8 inputfilename > outputfilename`

1.9 サポートされる言語

次の表に、このリリースの Java Desktop System でサポートされる言語を示します。

サポートされる言語
英語

サポートされる言語

フランス語

ドイツ語

イタリア語

日本語

韓国語

スペイン語

スウェーデン語

簡体字中国語

繁体字中国語

注 – ブラジルポルトガル語はユーザーインターフェースのみがサポートされます。

1.10 Linux システム向けの製品の更新

Linux システム上で使用する Java Desktop System Release 2 向けの更新内容を、Java System Update Service を使ってダウンロードすることができます。詳細については、以下のサイトを参照してください。

- <http://www.sun.com/software/javadesktopsystem/update/r2.html>
- 『Java System Update Service User Guide』

1.11 カスタマーサポート

次の Web サイトでは、Java Desktop System のカスタマーサポートサービスについて説明しています:

<http://www.sun.com/service/sunjavasystem/javadesktopsystem.html>

1.11.1 インストールと設定のサポート契約

特定の製品に対して、Sun Microsystems は、Java Desktop System の一般インストール用のデスクトップクライアントソフトウェアを対象に、60 日間の無償インストールと設定サービスを提供します。このサービスの対象は、Sun が提供する標準パッケージを含む、改変されていない Java Desktop System ソフトウェアの標準インストールと設定に限ります。多少なりとも改変されたシステムは、このサービスの対象にはなりません。改変された Java Desktop System ソフトウェアに対してこのサービスを提供する契約が組み入れられた場合、その契約はいずれの当事者でも解除できるものとします。